

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年11月22日掲載

1年2組 寺岡 恵

「今日は火災の避難訓練があります。」担任の先生がこういわれた。僕はいつものやつだなと思い1日過ごしていた。しかし、直前の休み時間にふと思った。「実際に火がついていたとしたら大変なことが起こるのではないか」と思った。実際自分の家が火事になってしまったらどうすれば良いのか知っておかなければならないと思った。

6時間目、先生が「あと3分で火がつきます」そう言われた。今日は訓練だったので落ち着いて対処できた。消防署の人の話では、煙は1分で横に1m、縦に3～5m移動すると言われていました。実際自分がその近くにいたと考えるとものすごいスピードで煙は進んでいるのだと感じました。火がついて3分たてば煙は横3m、縦15m進んでいることを考えれば、避難する時間をもっと考えるべきだと反省しました。

自分は今回の火災避難訓練では、火事の恐ろしさを想像することができました。今からの季節は乾燥し火事の危険が多くなると思います。実際、自分の家など、身近なところで火事が起こったときにも冷静に対処することができるように、家族と一緒にもう一度考えていきたいと思いました。